

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 69

2021年8月発行

「ともに暮らす社会」

最近、ある大手銀行から届いたDMが気になりました。高齢者に向けてのチラシです。将来、子どもや家族に迷惑をかけないように準備をしておきましょうという内容でした。やたらと、「迷惑」という言葉が強調されていて、「迷惑をかけてもいいのですか？」と脅しにさえ聞こえてきそうな文章もありました。迷惑をかけるのであれば生きていてはいけないような文面にしんどくなりました。

「迷惑」とは何だろうと考えてしまいました。高齢になって介助がなければ暮らしていくことができなくなる、障害があって人の手を借りなければ生きていけない、それを「迷惑」と捉える考え方が、人を生きづらくする社会になるのではないのでしょうか。お互いさまと助け合える、歳をとれば助けを借りて暮らしていく、それが当たり前であってほしいと思います。

障害者排除の考え方も同様です。クラスの中に障害をもった子どもがいると、授業が進まないとか、クラスメイトが授業に集中できないとか、だから迷惑だと言う大人たち。そんな環境で育てられた子どもは、人と違ったり人の手を煩わせたりする人を迷惑な存在だから排除したいと考えるかもしれません。けれど、障害をもつ子どもがクラスにいることを当たり前のこととして捉える環境で育つ子どもたちは、いろんな人がいて、いろんな考え方があって、そして、誰も排除することなく一緒にやっていくんだと学んでいくことができます。かつて私は、重度の障害をもつ娘のクラスメイトたちに多くのことを教えられました。娘は「支えられる存在」ではないのだとわかりました。時に友達を支え、友達に学ぶ機会を与え、そして、友達とともに成長してきました。支える側と支えられる側の境界線などありはしないのです。お互いに支え合っていくのだから、人を助け、困った時には人に助けられてもいいのだとわかると、人は生きていくことが少しは楽になるのではないかと思います。

誰をも排除しない社会、誰もが生きていてよいのだと思うことができる社会、そんな社会になってほしいと思います。「誰もがつながりの中でくらす、望まれた人として生きる自分らしく生きていく」私たちはそのために活動を続けてきました。そして、これからもそれは変わりません。

NPO 法人地域生活サポートネットほうぶ 向井裕子

放課後等デイサービス「楽童ほうぶ」報告

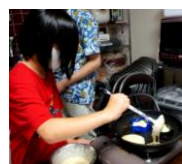
大阪では、新型コロナウイルスの深刻な感染状況が続いています。感染力の強い新たな変異株の流行で、8月2日からは4度目の緊急事態宣言期間に突入しました。

今年度の1学期も、子どもたちは感染状況の推移にそのつど翻弄されながら、学校生活を送ってきました。学習の機会が奪われないようにと、学校現場の努力も並大抵ではなかったように感じられます。しかし、大阪市内ではオンライン授業の実施をめぐる様々な混乱も生じました。子どもたちに貸与される授業用タブレットの管理一つとっても、保護者にとっては悩みの種がまた一つ増えてしまう、そんな実情があります。

土曜日活动において、公共交通機関を活用した外出プログラムが企画しづらい状況下で、創作プログラムの比重を増やしています。小学生が増えていることもあり、「作ったものを日々の暮らしに活用する」「作ったものでみんなで遊ぶ」ことにつなげることを念頭に置き、毎回の内容を工夫しています。6月下旬から再開したクッキング（調理体験）も、8月の緊急事態宣言により、また中断せざるを得なくなりました。全員がお弁当持参できるわけではなく、子どもたちが集団でコンビニやスーパーにお昼ご飯を買いに行くことも危険な外出となります。そのため、特定のスタッフだけが調理に携わる形で、毎日、手作りの昼食を提供する方策をとることにしました（弁当持参は可能）。子どもの食生活や心身の健康の維持を、家庭の自助努力だけに負わせることにならないよう、微力ながら子育ての営みの一端を分かち合い、一人ひとりの子どもの育ちを支えていきたいと思っています。

また、感染防止に一人ひとりができるかぎり努力するという前提のもとで、大学生ボランティアの受け入れを行い、保育・教育を学ぶ大学生の新たな実習受け入れも行ってきました。子どもたちは、大学生のおにいさん・おねえさんに遊び相手になってもらうことをとても喜ぶます。7月末には、大学側のご厚意により往復の貸切バスを手配して下さったことで、久しぶりに遠方への外出プログラムも実施することができました。

人と人がじかに出会い、関わり合うこと自体がリスクとされてしまう時代です。それでも、私たちは、人とのつながりを実感することなしに、いきいきと社会生活を送ることができません。子どもたちが、いろいろな人と関わり合い、いろいろな出来事を体験しながら成長していくための機会づくりを、これからもあきらめずに模索していきます。



終業式の日には、力を合わせてホットケーキを作りました。1学期お疲れさま！

疲れたら、ひと休み。

グループワーク（5月～6月）

2021年5月1日（土） 参加者：子ども8名

2021年6月12日（土） 参加者：子ども11名

グループワークは、「互いの考えや気持ちを表現し合い、聴き合う体験を学ぶ」ことを目的と

した活動です。子ども向けヨガを参考にしたリラックス体操と、修復的対話の場づくりの手法であるトーキングサークルを組み合わせ、30分間程度の時間で実施しています。5月は、「好きなアニメキャラクター」、6月は「雨の日の楽しみ」をテーマに、それぞれが自分の思いや考えを順番に発表しました。



自分なりの意見や表現が認められることを実感できるような雰囲気づくりのために、他者の話に耳を傾ける態度・姿勢への意識づけがいっそう求められていると感じます。

大学生との音楽交流会（6月・7月） 学 遊

2021年6月19日（土） 参加者：子ども8名、実習生5名

2021年7月3日（土） 参加者：子ども11名、ボランティア3名

2021年7月17日（土） 参加者：子ども11名、実習生5名

今年度からの新たな取り組みとして、千里金蘭大学から、「子ども音楽療育士」という資格を取得するための実習の受け入れを行いました。大学生5名が楽童ほうぶにやってきて、音楽交流プログラムを実践してくれました（6月19日／7月17日）。楽器に触れる、リズムに合わせて身体を動かす、演奏に耳を傾ける、などの多彩な活動が盛り込まれたプログラムでした。



また、以前から定期的に楽童ほうぶを訪れてくれている武庫川女子大学音楽学部の大学生による音楽プログラムも実施しました（7月3日）。この日は、カップと風船を使ったミニ太鼓づくりとリズム遊びをしました。



ボランティア活動（地域清掃） 住 働

2021年5月8日（土） 参加者：子ども10名

2月に一度、地域ボランティア活動として、ほうぶの周りの道や公園のゴミ拾いをしました。町会役員の方からも、「ぜひ続けてほしい」との声をいただき、地域ボランティア第2弾として、この日は日頃からよく遊びに行く近所の公園に絞って、ゴミ拾いをしました。グループに分かれて公園内の担当エリアを決め、溝に捨てられているタバコの吸い殻や、草むらに捨てられているペットボトルなどを見つけてはゴミ袋に入れていきました。「ポイ捨てはアカン！」ことを身をもって学ぶ機会にもなったと思います。ゴミ拾いの後は、キレイになった公園で遊びました。



アロマジェルを作ろう 住 学 遊

2021年5月15日（土） 参加者：子ども10名

空きビンと保冷材を活用して、アロマジェル作りに挑戦しました。清涼感があり虫除け効果

もあるハッカの香り、リラックス効果のあるラベンダーの香り、リフレッシュ効果のあるレモングラスの香り、計3種類のエキスを用意し、一人ひとり、自分の好みの香りを選びました。

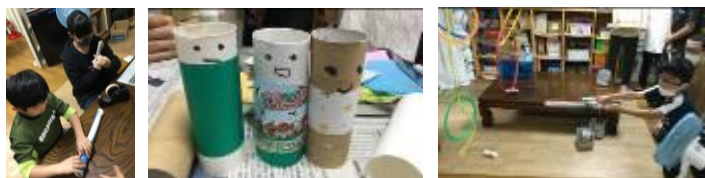
また、あらかじめ用意したジェルの色見本を見て、どんな色のアロマジェルを作りたいか考えて、色付けをしました。一人ひとり、オリジナルのおしゃれアロマジェルをお土産に持ち帰りました。



手作りロケット発射！ 学 遊

2021年5月22日（土） 参加者：子ども9名

「手作りおもちゃで楽しむ」をテーマに、新聞紙・ロール芯・輪ゴムを材料に、手動のロケットを作りました。新聞紙を丸めてロケット台の軸を作るグループ、ロケット台の軸に輪ゴムを取り付けるグループ、発射用のロール芯にテープやマジックでデコレーションするグループの3班に分かれて、分業制で作業に取り組みました。できあがったロケットを使って、天井から吊るした輪っかの中にロール芯を飛ばして通すゲームをしました。大きな輪は10点、小さい輪は20点と決めて、5回飛ばして何点取れるか挑戦しました。盛り上がったメンバーは、2巡目にもトライしていました。



淀川河川敷でフチ運動会 遊

2021年5月29日（土） 参加者：子ども10名、ボランティア1名

徒歩でアクセスでき、かつ広々と遊べる場は限られるので、4月の遠足に続いて5月の遠足も、淀川河川敷に行きました。昼食をとった後、チーム対抗の「ボール運びリレー」と「綱引き」で、フチ運動会をしました。団体戦が終わったあとも、綱引きの個人戦が白熱しました。梅雨に入ったので天候が心配でしたが、この日は快晴で、気持ちのよいひとときを過ごすことができました。



「天の川」を作って遊ぼう 学 遊

2021年6月26日（土） 参加者：子ども9名、ボランティア4名

七夕を先取りした創作活動として、運動会で使うポンポンなどの材料としておなじみのスズランテープを使い、「天の川」を作りました。青いスズランテープに、星型の色紙を貼り付けて「天の川」に見立てて、台所からプレイルーム一帯にいろんな高さ・角度で張り巡らしていきました。できあがった「天の川」コ



ースを、テープに触れないように避けながら何秒で通り抜けてゴールまでたどり着けるか、タイムトライアルで競いました。通り抜け方一つとっても子どもの個性が発揮されていました。タイムトライアル終了後の「天の川」は、廊下の天井の両端から吊り下げて、夏の始まりを告げるインテリアになりました。

ペットボトル風鈴を作ろう **学** **遊**

2021年7月10日(土) 参加者：子ども9名

夏の到来を感じる創作活動として、ペットボトルを素材に風鈴づくりをしました。ペットボトルの上部または底部を切り取った状態にしたものをあらかじめ用意しておき、子どもたちはその中から好きな大きさ・形のものを選び、切り取り部分にマスキングテープを貼ったうえで、油性マジックで模様を描いたり、ステッカーを貼ったりしました。風を受けとめるための短冊も、好きな色・模様のものを選びました。できあがった風鈴を部屋に吊るしてみるだけで、目でも耳でも涼を楽しめる雰囲気が出来ました。



真夏のファッションプログラム2021

こどもILP
テーマ：衣

① 2021年7月17日(土) 参加者：子ども11名、実習生5名

② 2021年7月24日(土) 参加者：子ども10名、ボランティア6名

③ 2021年8月7日(土) 参加者：子ども13名

④ 2021年8月21日(土) 参加者：子ども11名

自己表現としてのファッションに関心を深める機会をつくる体験プログラムとして、「おしゃれなエコバッグを作ろう！」をテーマにした全4回の連続プログラムを企画しました。

第1回(7月17日)は、エコバッグ作りの前段階として、「**おしゃれな色の組み合わせを考えよう**」というテーマでグループワークを実施しました。自分が今日着ている服にどんな色が使われているかを探したあと、服の上下の色の組み合わせで、自分がおしゃれだと思う組み合わせを、Tシャツカードとズボンカードの中から選んでもらいました。



第2回(7月24日)は、「**エコバッグを染めてみよう**」というテーマで、100均で仕入れた麻のエコバッグを、墨汁で絞り染めする活動に挑戦しました。エコバッグに輪ゴムで絞りを作ったり、ねじったりした上で、牛乳パックに入れ、そこに墨汁を流し入れます。午前中にこの作業に取り組み、昼食を済ませてから、浴室で中身を取り出し、水洗いしました。水洗いの工程で黒色はかなり流れ落ち、グレーのデニム生地のような風合いに仕上がりました。



第3回(8月7日)は、「**エコバッグをデザインしよう**」というテーマで、墨汁染めたエコバッグに、アクリル絵具とボンドを混ぜ合わせて作った塗料で、色とりどりのカラーデザインを施す活動に取り組みました。墨汁染めプログラムに参加していない子どもは、仕入れたまま

の麻のエコバッグに直接色付けをしました。あらかじめ用意した型枠を選んでステンシルの要領で色付けしていく子どももいれば、フリーハンドで独創的な絵を描いていく子どももいました。どのエコバッグも、オリジナリティあふれる素敵な作品に仕上がりました。



第4回（8月21日）は、プログラムの締めくくりとして、できあがった**エコバッグのお披露目セレモニー**を開催しました。それぞれがお気に入りの服を身にまとい参加しました。現在大流行中の韓国出身某アイドルグループの楽曲メドレーがBGMで流れる中、一人ずつ、各々のタイミングで控室から登場！ レッドカーペット上をケンケンパで進み、ステージにたどり着いたところで、ハイ、ポーズ！ ポーズをキメて、撮影を終えると、スタッフ手作りのグッドデザイン賞メダルを授与されました。



大学探検ツアー & 真夏の音楽交流会



2021年7月31日（土） 参加者：子ども7名

千里金蘭大学との連携企画として、大学探検ツアー&音楽交流会を実施しました。子どもたちも行きを送迎バスの車中からワクワクしていました。

大学に到着すると、大学生の皆さんがお出迎えしてくれました。広い講義室で換気と距離の確保を徹底しながら昼食をとったあとは、オリエンテーリング形式での大学探検ツアーを楽しみました。最後に、舞台付きの演習室に案内していただき、音楽プログラムに参加しました。



関係者全員が感染対策への意識をもち、できるかぎりの努力をすることで、じかに出会い、言葉を交わし、音楽でつながり合うひとときを過ごすことができました。



● 地域活動報告 ●

- 5月19日(水) 旭区地域自立支援協議会定例会（ZOOM）
- 6月4日(金) 子育て支援あさひの輪 定例会
- 6月16日(水) 清水子育てボランティアグループ定例会（清水小学校）
- 6月22日(火) 旭区就学進学なんでも相談会（新森小路小学校）
- 7月2日(金) 旭区就学進学なんでも相談会（大宮西小学校）
- 7月7日(水) 旭区就学進学なんでも相談会（太子橋小学校）
- 7月12日(月) 旭区就学進学なんでも相談会（清水小学校）
- 7月13日(火) 旭区地域自立支援協議会 こども部会（旭区役所）
- 7月21日（水） 旭区地域自立支援協議会定例会（旭区役所）
- 8月17日（火） 旭区地域自立支援協議会 相談支援部会（ZOOM）
- 8月24日（火） 旭区地域自立支援協議会 なごんで座談会実行委員会

子育て支援事業

「発達が気になるお子さんの子育て情報」

～ 大阪市旭区の地域密着情報 ～

情報をお寄せください！

発達が気になるお子さんの保護者向けの情報発信をしています。保護者のニーズ調査を行い、どのようなことに困っているか（困ったか）、どのような情報が欲しいか（欲しかったか）を基に、相談先、支援や制度、年代別の情報、療育・リハビリ、手帳取得などの「子どもの発達が気になった」時に知りたい情報や、区内の幼稚園や保育所、児童関係事業所の情報を発信しました。以下の情報をお寄せください。

あなたの口コミ情報が、誰かの役に立ちます！

- ・病院や診療所の情報
- ・お店や美容院の情報
- ・育児の工夫やヒント

皆さんからの情報をお待ちしています。

e-mail houpu@r.river.sannet.ne.jp

<http://supportnet-houpu.com/>



カンパをお願いします！

「ひだまりテラス」構想

～誰もが夢を語りつながり合う場づくりをめざして～

現在建設中の新拠点では、道に面したオープンスペースを設けます。オープンスペースでは、通りがかりの方が一服できたり、子どもたちが地域の方々と「しごと体験」などを通じて交流できたり、地域の方々が密を気にすることなく風通しのよい空間で気軽に交流できたりする、そんな「誰もが夢を語り、つながり合う」場づくりを展開したいと考えています。

ここに来れば、心がほっこり温かくなり、明日への元気がわいてくる。そうした願いをこめて、私たちはこのオープンスペースを「ひだまりテラス」と名付けることにしました。

「ひだまりテラス」構想を実現するために、真夏の照りつける日差しや雨露から、人々を優しく守る「傘」になってくれる、オーニングテントの設置が欠かせません。

新拠点で、多種多様な地域福祉活動を展開していく足掛かりとするために、皆様の一層のお力添えをいただければ幸いです。何卒よろしく願いいたします！



地域の小中学校は8月下旬から2学期が始まりました。宿題と遊びと、そして、コロナ感染対策に追われ、職員にとっては過酷な夏休みでした。楽童ほうぷでは、この夏に「満足度調査」を行いました。ご報告は次号に掲載させていただきます。

パラリンピックが始まり、障害をもつアスリートが活躍する姿に感動します。でも、一時の「想い」で終わらせることなく、「できる」者だけが受け入れられるのではなく、「ともに暮らす社会」となることを願います。

